

大阪市立大学大学院工学研究科

医工・生命工学教育研究センター：

BMEC BioMedical Engineering Center

第15回セミナー

日時

2021年

11月16日(火) 17:10～18:00頃

場所

オンラインにて実施

(詳細はお問合せください。)

**「がん微小環境を考慮したがん治療・診断のための
細胞培養法の確立とモノクローナル抗体の作製」**

横山智哉子先生
博士(工学)

工学研究科 化学生物系専攻
創薬生命工学研究室 講師

三次元(3D)培養がん細胞は *in vitro* での腫瘍モデルとされており、単層培養である二次元(2D)培養したがん細胞と比較して、低酸素・低栄養な内部微小環境の形成や細胞接着因子の発現量の増加などの特徴が見られる。また、モノクローナル抗体は抗体医薬としても診断薬としても有用なツールである。私たちはがん治療および診断に有用な、がん微小環境を考慮した細胞培養法として、がん細胞の3D培養法を確立した。また、がん微小環境を特徴づける因子の同定のため、3D培養がん細胞を抗原としたモノクローナル抗体を作製した。本講演では、これまでに得られた知見を紹介し、がん細胞の3D培養法の改良と、作製したモノクローナル抗体を用いた今後の研究の展開について議論したい。

[問い合わせ先]

大阪市立大学大学院工学研究科

医工・生命工学教育研究センター センター長 白藤

TEL: 06-6605-2681 e-mail: shirafuji@osaka-cu.ac.jp